

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 いなべ市社会福祉協議会

法人経営部門

【総務課】

1. 会務の運営

<理事会>

	開催日	議案内容
第77回	6月6日	令和3年度事業報告、令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、事業経営保障積立金の取り崩し、令和4年度社会福祉事業会計および公益事業会計第1次補正予算、理事選任候補者の推薦、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員の選任、第65回評議員会の開催
第78回	11月17日	育児・介護休業等に関する規則の一部変更、職員就業規則の一部変更、パートタイム職員就業規則の一部変更、給与規程の一部変更、資産運用規程の制定、各種積立金の取り崩し、令和4年度社会福祉事業会計および公益事業会計第2次補正予算、第66回評議員会の開催
第79回	12月22日	理事選任候補者の推薦、第67回評議員会の開催
第80回	3月7日	副会長の選任、定年退職再雇用規程の一部変更、パートタイム職員定年退職再雇用規程の一部変更、事務局規程の一部変更、給与規程の一部変更、育児・介護休業等に関する規則の一部変更、資金の積立て、令和4年度社会福祉事業会計および公益事業会計第3次補正予算、令和5年度事業計画、積立金の取り崩し、令和5年度社会福祉事業会計および公益事業会計予算、評議員選任候補者の推薦、第68回評議員会の開催、令和5年度役員等賠償責任保険契約の更新、令和5年度利益相反契約

<評議員会>

	開催日	議案内容
第65回	6月21日	令和3年度事業報告、令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、事業経営保障積立金の取り崩し、令和4年度社会福祉事業会計および公益事業会計第1次補正予算、理事の選任
第66回	11月25日	令和4年度社会福祉事業会計および公益事業会計第2次補正予算
第67回	1月16日	役員を選任
第68回	3月16日	令和4年度社会福祉事業および公益事業会計第3次補

	開催日	議案内容
		正予算、令和5年度事業計画、令和5年度社会福祉事業および公益事業会計予算

<評議員選任・解任委員会>

	開催日	議案内容
第10回	6月16日	評議員の選任 1名
第11回	3月13日	評議員の選任 2名

2. 事業運営の透明化

法人運営の透明性を確保するために、社会福祉法に定める定款、計算書類および事業報告、役員等名簿について、主たる事務所に備え置いた。また、ホームページにも社会福祉法に定める事業計画書等の必要書類を掲載した。

3. 財務規律の強化

適正かつ公正な支出管理のために、監事による月例監査を6回、決算監査（令和4年5月13日）を実施した。また、内部監査を4回実施し、監事による監査のみならず、職員による内部監査を実施することにより、健全な財務状況が確保できるよう強化を行った。

4. 福祉サービス苦情・要望改善事業

苦情要望件数 22件

福祉サービス苦情・要望改善事業第三者委員会を開催し、助言を求めるとともに再発防止について協議を行った。苦情が発生した際は、迅速かつ丁寧な対応をおこない、利用者の権利擁護、満足度の向上に努めた。

5. 職員の資質向上（職員研修事業等）と人材育成

職員研修基本方針に基づき、下記のとおり研修を実施した。新型コロナウイルスの影響もあり、全体研修については中止とした。また、集合研修については、開催形式の変更や規模を縮小して実施した。

<部門別研修>

各部署の業務に沿って必要とされる研修を企画し、専門職としてのスキル、技術の向上を目的に実施した。

①地域福祉課

研修テーマ	実施日	参加数
防災研修	10月14日	10名

②地域生活支援課

研修テーマ	実施日	参加数
専門職の視点からのリハビリ	5月17日	28名
障害年金の請求について	6月10日	12名
高齢者虐待について	7月22日	46名
相談支援研修	8月26日	11名
権利擁護研修	3月9日	5名

③ケアプランセンター

研修テーマ	実施日	参加数
解決構築アプローチを用いた面接技法	11月11日	11名

④通所介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
食中毒・感染症研修	6月23日	10名
応急手当・救命処置	7月21日	7名
リスクマネジメント研修	9月22日	9名
介護技術研修	11月10日	9名
医療に関する研修	11月24日	10名
認知症ケア研修	3月24日	11名

⑤訪問介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
虐待防止研修	10月25日	10名
リスクマネジメント（災害・事故対応）	1月31日	8名
認知症ケア研修	2月15日	8名
リスクマネジメント（プライバシー保護・倫理・法令順守）	3月28日	7名

⑥介護予防事業

研修テーマ	実施日	参加数
応急手当・救命措置研修	8月17日	4名
運動や体操の基礎知識	11月11日	5名
園芸福祉研修	1月18日	5名

⑦障がい支援課

研修テーマ	実施日	参加数
感染症予防研修	7月29日	11名
障がい福祉サービス	2月22日	8名
障がいへの基礎知識	2月23日	6名
虐待防止研修	3月24日	10名

⑧こども支援課

研修テーマ	実施日	参加数
食育研修（保育士）	5月20日	69名
食育研修（調理員）	5月20日	62名
年齢別研修	6月17日 11月9日	99名
発達支援研修	7月20日	76名

6. 各種規程の適正管理

育児介護休業法の改正に伴い、育児・介護休業等に関する規則において産後パパ育休（出生時育児休業）及び育児休業の分割取得を追加した。併せて就業規則、パートタイム就業規則の育児休業に関する条文を見直した。また、育児短時間勤務の取得条件を4歳から5歳に引き上げた。

保育園長を管理職にすることに伴い、事務局規程、給与規程の変更を行った。また、働き方改革関連法の改正に伴い、月60時間を超える割増賃金の引き上げを行った。

7. 職員の健康管理・衛生管理事業

安全衛生委員会 2回（6月、2月開催） 安全推進会 16ヶ所 月1回開催
各職場で、安全推進会および職場巡視を毎月実施し労働災害防止に努めた。

車両乗車前の点検の啓発強化の取り組みと車両事故再発防止教育を実施するなど、車両事故削減に努めた。

安全運転管理者設置事業所に必須となった運転前後のアルコールチェックに対応するため、アルコールチェッカーを5事業所に設置し、10月からアルコールチェックを開始した。

ストレスチェック制度による、ストレスチェックを実施

受検者238名 受診率96%

ストレスチェック実施後、高ストレス者の産業医・保健師面談を行った。

健康診断受診職員数（8月～9月実施） 248名 受診率100%

健康診断受診結果による健康相談（産業医） 0名

健康診断受診結果による保健指導（保健師） 4名

健康診断受診結果をもとに再検査等の受診を促し、早期治療につなげることで職員の健康管理を徹底した。

職員健康相談（保健師および産業医）

月1回開催 延べ利用者数 43名

心身の健康維持、回復へとつなぐことができた。

新型コロナウイルス感染対策

医療用抗原検査キットを購入し、職員に症状や疑いがある場合、職員自ら抗原検査キットで検査を行い、組織内での感染拡大を未然に防ぐよう努めた。

8. 実習生、職場体験等の受入れ

実習・体験目的	受け入れ先	受け入れ数
社会福祉士相談援助実習	各事業所	2名
保育士実習	石樽保育園、三里保育園、山郷保育園、員弁西保育園	7名
職場体験 (インターンシップ)	員弁西保育園、石樽保育園	18名
現場実習	オレンジ工房あげき	2名
教職員社会体験研修	員弁西保育園	1名

9. 広報活動の充実

社協だより 発行回数6回(奇数月) 各戸配布

社協事業場のほか、市内商業施設、公共施設にも配置している。

Facebook 投稿件数 61件

twitter 投稿件数 29件

Instagram 投稿件数 50件

プレスリリース発信件数 8件

10 ネットワーク環境の整備・活用

オンライン会議の導入など、IT環境の整備やグループウェアを活用して事務処理および情報共有の効率化をはかった。

11 連携・協働の場としての役割

市内9社会福祉法人が参加する、いなべ市社会福祉法人連絡会の事務局を担い、複数法人の協働による地域の公益的な取り組みについて検討した。

いなべ市社会福祉法人連絡会

	開催日	議案内容
設立総会	6月13日	いなべ市社会福祉法人連絡会会則(案)、いなべ市社会福祉法人連絡会役員(案)、令和4年度いなべ市社会福祉法人連絡会事業計画(案)
第1回	12月20日	今後の活動について、意見交換

12 職員状況

正規職員		その他	
令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
129名	134名	216名	202名

地域福祉活動推進部門

【地域福祉課】

《第4次いなべ市地域福祉活動計画の推進》

- (1) 第4次いなべ市地域福祉計画および地域福祉活動計画推進委員会準備会 1回
- (2) 社会福祉協議会における出前講座の実施

テーマ名	出前回数
足腰を鍛えて、介護予防を目指そう	3回
認知症予防レクリエーション	4回
認知症サポーター養成講座	1回
介護予防・健康・これからの暮らし方について	1回

<まちづくり・人づくり>

1. ボランティアセンター事業

- ・ボランティア相談件数 27件、コーディネート件 4件
- ・ボランティア登録数 1,853名
- ・ボランティアセンターだよりの発行(7月)
- ・傾聴講演会 1回 参加者数 31名
- ・いなべふくし塾 2回 延べ参加者数 40名
- ・いなべ市ボランティア連絡協議会
 - 加入団体 19団体 加入者 8名(令和5年3月末現在)
 - 定例会 12回 延べ参加者数 119名
 - 清掃活動等 4回 延べ参加者数 51名
- ・食品ロス削減に向けた取り組み 6回
 - 寄附 1,750キロ 提供 200セット
- ・地域食堂の開催支援 11回 延べ参加者 352名

2. 各種サポーター活動支援

サロンサポーター、地域サポーター合同定例会

- (1) 対象者373名を対象に案内を送付し、当日参加者42名に対してコロナ禍での活動について情報交換やサロン活動紹介、中北薬品による出前講座の紹介を行った。
- (2) 四季の家
 - ・定例会 11回
 - ・地区別開催 藤原21回(延べ参加者数400名)
員弁23回(延べ参加者数195名)
大安21回(延べ参加者数269名)
北勢22回(延べ参加者数228名)

3. 福祉教育推進事業

福祉体験の実施：ワークショップ4時限、アイマスク体験4時限、当事者講義

(視覚障がい) 14時限、当事者講義(聴覚障がい・手話体験)
18時限、車いす体験8時限、点字体験10時限、認知症サポ
ーター養成講座6時限、SSピンポン3時限、盲導犬2時限
福祉協力校の登録：市内小学校11校、中学校4校、高校1校

4. 共同募金事業

令和4年度 募金総額 5,730,415円

5. 日本赤十字社社資増強運動

令和4年度 総額 5,342,000円

6. 社協会費募集実績総額 5,857,500円

(内訳)

個人会員 10,044件

賛助会員(個人) 276件

賛助会員(法人) 130件

<ネットワークづくり>

1. ふれあいサロン事業

【ふれあいサロン】 実施回数 242回 延べ参加人数 7,264回

北勢：71回 2,254名 員弁：57回 1,607名

大安：68回 2,309名 藤原：46回 1,094名

【ふれあい訪問活動】 実施回数 113回 延べ参加人数 8,454名

北勢：36回 2,133名 員弁：13回 293名

大安：38回 4,578名 藤原：26回 1,450名

2. 障がい者スポーツ交流会の中止

3. 生活交流会事業

知的障がい者生活交流会 5回 延べ参加者数34名

精神障がい者生活交流会 2回 延べ参加者数39名

生活交流会講演会 1回 参加者数34名

4. 敬老事業(いなべ市委託事業)

祝品贈呈 喜寿 503名 米寿 279名 白寿 30名 百歳 10名

最高齢者 2名

5. 災害ボランティアセンター事業

・災害ボランティアコーディネーターに関する講演会 1回

延べ参加者数 24名 登録者数 43名

- ・災害ボランティアコーディネーター定例会 6回 延べ参加者数 44名
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 1回 参加者 11名

6. 各種団体事務局業務

(1) 民生委員児童委員協議会連合会

	事業内容
いなべ市	役員会、部会・総会（4地区毎）、全員研修、県民児協主催行事（理事会・代議員会・在宅福祉委員会、民生委員大会、会長研修会、主任児童委員研修会、専門部会研修会）への参加、主任児童委員会（定例会・研修会）、ホームページ運営、もしもの時のSOSカード配布
北勢地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、視察研修
員弁地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、登校時の見守り支援、視察研修
大安地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、視察研修
藤原地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、一人暮らし・高齢者等世帯訪問連絡票作成、高齢者施設交流事業（花植え）、視察研修

(2) いなべ市老人クラブ連合会

事業内容
役員会、支部会、総会、老人福祉大会、趣味の作品展、ゴルフ交流会、健康づくり講演会、芸能大会、カラーリング体験教室、役員研修会・交流会、友愛訪問活動、世代間交流助成事業、ボッチャ体験会、イラスト教室、麻雀交流会、ゴルフ交流会、パソコン教室、陶芸教室、専門部活動（ゲートボール、囲碁・将棋、ウォーキング、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、カラオケ、社交ダンス、フォークダンス、野球、民謡、麻雀）

(3) いなべ市身体障がい者福祉会

事業内容
役員会、総会（書面議決）、広報発行1回、障がい者週間PR活動

7. 心配ごと相談の実施

相談種類	開所回数	実績
一般相談	12回	5件
弁護士相談	19回	104件
司法書士相談	7回	28件

8. ふれあい弁当配布事業

登録者数 298名 実施回数 72回 延べ配布件数 4,470件

9. 外出支援・移送サービス事業

登録者数 47名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業休止

10. 福祉用具貸与事業

物 品	延べ貸与件数
車イス	107件
スロープ	3件

11. おむつ給付事業（いなべ市委託事業）

給付対象者 115名 年間給付件数 1,403件

12. 緊急通報装置設置事業（いなべ市委託事業）

業 者	件 数
ALSOKあんしんケアサポート	3件
NTT西日本	3件

13. 寝具洗濯サービス事業（いなべ市委託事業）

登録者数 8名 延べ利用件数 19件

14. 訪問理容サービス事業（いなべ市委託事業）

登録者数 16名 延べ利用件数 9件

15. 福祉サービス利用審査会

新規サービス申請者の利用決定における審査会 12回開催 審査件数 83件

16. 共同募金配分金

令和3年度（令和4年度充当） 配分交付決定額 4,873,414円

配分金事業

老人福祉活動（2事業）

- ・地域におでかけ事業 申請者数 168名 協力店舗 16店舗
- ・あんしん電話事業 登録者数 13名 実施回数 49回

母子・父子福祉活動事業（1事業）

- ・ひとり親家庭支援事業 助成人数 3名

福祉育成援助活動（4事業）

- ・歳末ふれあい事業 配布者数 978名
- ・ふるさとづくり公園整備助成事業 申請 12地区
- ・スポーツふれあい事業 参加者数 175名
- ・ボランティア団体助成事業 助成団体数 20団体
- ・独自啓発グッズ（テープのり）の対象者配布

<安心な環境づくり>

いなべ市生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）（いなべ市委託事業）

いなべ市共助の基盤づくり事業

1. 5層協議体 開催回数45回（内訳：北勢町11回、員弁町12回、大安町11回、藤原町11回）

延べ参加者数458名（内訳：北勢町138名、員弁町103名、大安町140名、藤原町77名）

福祉委員会

- ・福祉委員会設置自治会数 69地区
- ・相談支援中および次年度活動予定自治会数 31地区
相談回数 延べ240回
- ・福祉委員会代表者交流会(福祉委員長交流会) 43名参加
- ・福祉委員会交流会 78名参加
- ・生きがい活動促進事業「ひなた」 活動者6名、新規登録者数1名

相談支援・権利擁護部門

【地域生活支援課】

（いなべ市地域包括支援センター）（いなべ市委託事業）

1 包括的支援事業

（1）総合相談支援事業

総合相談

延べ相談件数 3,923件

民生委員児童委員との連携

民生委員児童委員からの相談及び連絡調整件数 178件

民生委員児童委員協議会定例会参加回数 48回（4地域）

（2）権利擁護事業

高齢者虐待（身体・心理的虐待等）対応内容（重複有）件数 26件

（うち、虐待と認められた件数 17件）

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジメント支援会議 4回

地域密着介護保険施設等運営推進会議への出席 10回

ケアプラン点検 6回

民生委員児童委員とケアマネジャーの連携研修会 4地区に実施

桑員支部介護支援専門員研修委託回数 7回

市内医療機関等関係機関への訪問

病院連携会議等の開催

医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの意見交換会 1回

地域支援ケース会議 18回

ケアマネジャーの後方支援（相談支援）件数 419件

ケアマネ通信の発信（随時）

包括通信 4回

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理延べ件数

包括（直接）1,275件 委託 462件

介護予防個別ケア会議 開催件数 23回

2 任意事業

(1) 高齢者見守りネットワーク事業

通報件数 22件

認知症高齢者等SOSネットワーク

協力団体届出件数 337団体

事前登録者数 46名

(2) 介護予防等普及啓発事業

出前講座 参加者数 30名

広報 社協だよりにて地域における高齢者関連活動紹介の掲載回数 6回

いなべFM みんなで支える幸齢社会へのラジオ出演 2回

3 いなべ市もの忘れ初期集中支援チーム事業

(1) チーム専門職（チーム医、認知症地域支援推進員、チーム員等）が協働し認知症の早期診断・早期治療に向けた、包括的・集中的な支援を行った。

チーム員会議 10回 うち、支援検討ケース 72件

もの忘れ初期集中支援チーム検討委員会 1回

チーム員対応件数（訪問・来所等） 332件

(2) その他活動状況

認知症疾患センター（東員病院）との連携WEB会議 12回

認知症ケース相談会へアドバイザーとしての参加 9回

(いなべ日常生活自立支援センター)

1. 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

利用者（契約者） 50名 延べ相談支援件数 919件

2. 生活福祉資金（県社協委託事業）

教育支援資金 3件（新規受付数）

コロナ特例貸付 30件（緊急小口資金：18件・総合支援資金：12件）

3. 小口生活資金貸付 21件

(いなべ市成年後見支援センター) (いなべ市委託事業)

1. 広報機能 (成年後見制度の周知・啓発)
 - いなべ市広報誌 Link への記事掲載 2回
 - 社協広報誌社協だよりへの記事掲載 1回
 - 出前講座での制度等の説明 2回
 - いなべ市放送局いなべFMでの制度等の説明 1回
2. 相談機能 (権利擁護が必要な方の早期発見・早期対応)
 - 窓口相談 新規相談 42ケース 継続相談 32ケース
 - 司法書士による専門相談 年6回 (12ケース)
3. いなべ市成年後見支援センター運営委員会の運営 (受任調整、申立の判断等)
 - 運営委員会準備会議の開催 3回
 - いなべ市成年後見支援センター運営会議の開催 2回
4. 法人後見事業
 - 法人後見委員会 年4回実施 受任件数 2件
5. その他
 - 行政職員・福祉職のための成年後見制度周知研修会の開催 1回
 - 意思決定支援研修、成年後見申立支援研修、後見人支援研修等にセンター職員が参加

(いなべ市くらしサポートセンター縁) (いなべ市委託事業)

1. 生活困窮者自立支援事業 (いなべ市委託事業)
 - 自立相談支援事業 相談件数 146件 プラン作成総数 27件
 - 就労支援対象者 (プラン期間中に一般就労を目標にしている) 12名
 - 家計改善支援事業 9件
 - 就労準備支援事業 3件
 - 住居確保給付金 5件
2. 被保護者就労支援事業 (いなべ市委託事業)
 - 延べ就労支援件数 65件
3. 生活つなぎ支援事業 11件
4. みえ福祉の「わ」創造事業
 - 生活困窮者支援緊急食糧提供事業 65件

ひきこもり支援センター瑠璃庵（いなべ市委託事業）

※今年度にて社協委託終了事業

おおむね6か月以上社会から孤立している、または、家族以外の第三者と接することがない状態の方たちを対象とした、相談窓口と居場所を兼ねた施設運営を行う事業

◎新規利用者数（来所） 本人28名 家族45名

1. 相談支援事業

（1）ひきこもり相談

新規対応件数 来所21件 電話19件 合計40件

（2）専門職によるひきこもり相談

実施回数11回 利用者数3名

（3）不登校・ひきこもり家族交流会

実施回数11回 参加者数15名（延べ）

2. 社会参加支援事業

（1）調理実習（料理教室）

実施回数22回 利用者数140名（延べ）

（2）モーニング事業「るりcafé」

実施回数22回 利用者数356名（延べ）

（3）フラワーアレンジ体験レッスン～お花で寄り添うココロ支援～

実施回数1回 レッスン参加者数8名 座談会参加者数12名

3. アウトリーチによる支援事業

アウトリーチでの面会184件 ポスティング222件 合計406件（延べ）

4. 就職氷河期支援事業

（1）就労体験実習

実施回数1回 利用者数1名

（2）対応件数406件（延べ）

【障がい支援課】

（相談支援事業所）

1. 障害児・者相談支援事業（いなべ市委託事業）

（1）いなべ市より、障がい児・者の総合相談事業を受託し、福祉サービス利用援助、情報の提供等必要な支援を総合的に行った。

（2）困難ケースに対応するため、必要に応じて、保健・医療・福祉・教育・就労

等、関係機関と連携して支援を行った。

相談支援を利用している方の実件数 165件

相談支援を提供した延べ件数 1,233件

2. 障がいプラン作成業務

障害者総合支援法に基づく計画相談支援事業を実施した。

- (1) 日々の業務や定例会のなかでケースの情報共有を行い、利用者が地域生活を送れるよう、支援方法について検討し、サービス等利用計画の作成を行った。
- (2) 生活課題の内容に応じて、障害者雇用、障害年金、生活困窮者支援、成年後見制度等、関係機関と連携して支援を行った。
- (3) 主任相談支援専門員養成研修に参加し、地域づくり、人材育成、困難事例への対応等、地域の中核的な役割を担うスキルについて学び、相談支援事業所としてのスキルアップを行った。
- (4) ケースの支援を行いながら、出てきた課題に対して、いなべ市自立支援協議会相談支援部会などで関係機関に協議し、いなべ市全体の課題として捉えてもらうようにした。

計画相談支援 年間請求件数 495件

障害児相談支援 年間請求件数 135件

【地域生活支援課、地域福祉課】

新型コロナウイルス感染者相談支援事業

新型コロナウイルス感染症による自宅待機者等への相談・生活支援

相談件数 9件

買い物等代行支援 7件

介護・生活支援サービス部門

【介護支援課】

(居宅介護支援事業所)

1. ケアマネジメントの質の向上への取り組み

ケアプラン点検の方法を統一し、全ての職員の課内点検を実施した。各ケアマネジャーには必要に応じて、多様な主体等が提供する生活支援のサービスを組み込めるよう指導し質の高いケアマネジメントの推進を図った。

コロナ禍で多くの研修がオンライン開催となる。全ての職員が自分に必要と考える研修を受けることができ、学びの確保ができた。

主任ケアマネジャーが経験の少ない新人職員や困難なケースに対し、訪問や会議に同行し、助言や指導等の育成に努め、事業所内の質の平準化に努めた。

コロナ禍で病院や施設の面会が制限される中、在宅での看取りが増えた。入院中から関係機関となる病院や地域での医療、多職種での連携を図り、多くの在宅見取り支援の対応が行えた。また、在宅支援において看取り支援に限らず、MCSを大いに活用し、連携強化が図れた。

2. 介護予防プラン作成業務

包括支援センターと連携を常に図り、必要な支援への対応を行った。

介護保険（予防）年間作成件数 222件

契約件数 19件

3. 関係機関との連携強化

コロナ禍でもオンラインを活用し、途切れることなく医療や関係機関との連携を図ることができた。

4. ケアプラン（居宅サービス計画書）の作成

(1) 特定事業所加算（Ⅰ）（Ⅱ）取得事業所

(2) 介護保険年間請求件数 3,624件

契約件数 352件

ケアマネジャー職員数 12名

5. 資質向上のため研修会開催・参加について

(1) 週1回の業務会議開催（毎週水曜定期開催） 48回

(2) いなべ市地域包括支援センター主催研修会等 15回

(3) 三重県介護支援専門員協会桑員支部主催研修（いなべ市委託研修含む）6回

6. 総合相談の受付・福祉サービス調整業務

電話・来所等 169件

7. 主任介護支援専門員活動内容（いなべ市及び地域包括支援センターからの協力依頼）

(1) 介護保険ケアプラン点検立会い 2回

(2) いなべ市居宅介護支援事業所連絡会の運営（ケアマネジメント支援会議含む）3回

(3) 介護予防個別ケア会議の委員として参加 6回

（地域密着型通所介護事業所・介護予防日常生活支援総合事業第1号通所事業所）

1. 通所介護事業所としての質の向上

コロナ禍であっても、会議や研修を実施したことで、多職種間で情報共有ができ、利用者一人ひとりに対し、より良いサービス提供に努められた。

2. 関係機関・地域との連携強化

タイムリーな情報共有を行えるよう、電話やメール、医療・介護連携ネットワーク等を活用し連携強化に努めた。

3. 健全な事業運営への創意工夫

利用者や利用者を取り巻く課題に対し、関係機関と連携を図りながら取り組み、

利用者が在宅生活を継続することができるよう、できる限り柔軟な対応・受け入れに努めた。

また、令和4年4月より地域密着型通所介護事業所へと移行し、事業運営の効率化・経営改善が少しでも図れるよう、職員の動きの見直しや記録業務の簡素化にも取り組んだ。

4. 日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

コロナ禍で契約者のサービス利用が絞られたため、本年度は利用なし。

契約者数 1名 延べ利用者数 0名

5. ふじわらデイサービスセンター事業別利用実績

事業	定員	契約者数	介護度別	延べ利用者数
介護	18名	38名	要介護1 12名	3,960名
			要介護2 10名	
			要介護3 9名	
			要介護4 6名	
			要介護5 1名	
総合		3名	要支援1 1名	141名
			要支援2 2名	

6. デイボランティア活動

ふじわらデイ 延べ活動者数 29名

(訪問介護事業所・介護予防日常生活支援総合事業第1号訪問事業所)

(障害者総合支援法 居宅介護サービス事業所)

1. 事業所としての質の向上

コロナ禍であっても感染対策を取りながら定期的な会議や研修会をほぼ実施することができ、職員間の連携も強化することができた。

それにより、介護の専門的な目線を確保することで、より良いサービスにつながられた。

2. 訪問介護の専門性の向上

利用者が何を求めているのか的確に把握し、生活全般の状況の改善に取り組んだ。また、アセスメント力を更に磨き、その結果、個別性を尊重し、専門的な視点で計画をたて、確かな知識と根拠に基づく技術の提供を行うことができた。

3. 関係機関との連携強化

多職種協働で介護サービスをより良いものとし、利用者の日常生活行為や社会関係の回復・拡大、医療的ケア、心理的な支援、介護の相談・指導、地域へのアプローチを行うために、会議やMC Iを活用し、連絡を密にすることで情報共有・

交換を行った。

4. 安定した事業運営（経営）への創意工夫

ICT化への取り組みに向け、情報収集やコストの試算を行い、次の検討へつなぐ資料作成を行った。

5. 障害児（者）移動支援事業（いなべ市委託事業）

契約者数 23名 延べ件数 118件

6. 福祉有償運送事業

	登録者数	延べ件数
身体障害者	7名	260件
要介護認定者	17名	419件
要支援認定者	0名	0件
精神障害者	0名	0件
知的障害者	1名	24件

<地区別会員数>

北勢	7名
員弁	6名
大安	8名
藤原	4名

7. 介護保険訪問介護事業実績

(介護) 契約者数 84名 延べ件数 8,328件
(総合事業) 契約者数 11名 延べ件数 604件

8. 障がい訪問介護事業実績

(居宅介護) 契約者数 37名 延べ件数 2,401件
(同行援護) 契約者数 9名 延べ件数 320件

(介護予防事業) (いなべ市委託事業)

1. 一般介護予防事業

青空教室

(1)運動コース

登録者数 85名 延べ利用者数 2,201名

(2)園芸コース

登録者数 84名 延べ利用者数 1,067名

(3)健康づくり(介護予防)セミナー

実施回数 12回 参加者総数 286名

(4) 介護予防啓発

・介護予防啓発

実施回数 17回 参加者総数 396名

・青空ひろば(催し物) R4.11月より開催

実施回数 3回 参加者総数 60名

※1月と3月については、天候都合及びイベント開催のため未実施

・気軽に集える場づくりの支援

実施場所 3か所 参加者総数 120名

総実施回数 31回

2. いなべ市介護予防・生活支援サービス事業

通所型短期集中予防サービスC

(1) はつらつ教室 2ヶ所(藤原・員弁)

登録者数 60名 延べ利用者数 1,261名

(2) はつらつクラブの開催支援

実施団体 10団体

※うち、2団体が4年度末中に解散(現時点での後方支援団体数は8団体)

会員総数 125名 総実施回数 224回

(3) 教室卒業生の実態把握

電話・訪問等による把握数 124名

3. 要援護高齢者実態把握事業

(1) 令和4年度は健康不明者として未受診・未健診・未認定の70歳～74歳までの方を対象に個別訪問し、生活状況や身体状況の確認、未受診の理由などの把握を行った。また、訪問の際に何らかの支援が必要と感じられる方については、関係機関(地域包括支援センターや長寿福祉課)へつなげるなどして、さらにはフレイル予防などの介護予防の啓発についての案内を配布するなど、健康についてや介護予防の必要性についてのアドバイス等を行った。

訪問者数 65名(うち、把握できた方50名)

関係機関につなげた件数 1件

(2) 啓発イベントの開催

開催回数 1回 『ためしてヤッテン～孫より先にVR体験～』

参加者数 70名

(介護支援課共通)

感染症や災害時に対する対策への取り組み

利用者・職員に対し、手洗いや消毒等を徹底しながら感染予防に努め、感染状況の場面に応じた必要な感染対策を取りながら業務継続を行った。また、業務継続計画の作成に取りかかり、令和5年度には完全に作り上げる予定である。

【障がい支援課】

(就労継続支援B型・生活介護・短期入所事業)

1. 利用者への充実した支援の提供

- (1) 初めて行う作業にも挑戦する姿勢を大切にし、最後まで成し遂げることで達成感を味わい、やりがいにつながるよう作業の提供を行った。
- (2) 就労に必要な技術のみならず、社会性を得るための支援も行った。
- (3) 生活介護の利用者には、作業活動の他に散歩や体操、創作など個別での活動を提供した。
- (4) 利用者で希望する方には、看護師による機能訓練の他、誰もが楽しく取り組める内容の運動を提供した。
- (5) 利用者の将来の生活を支えるため、短期入所を計画的に利用していただき、楽しく過ごしていただくよう支援を行った。延べ利用者数、利用登録者数は昨年度より増加した。

2. 職員の質の向上

- (1) 利用者の障がい特性に応じ、責任ある態度で支援に努めた。
- (2) 利用者および保護者への対応は、懇切丁寧に行うよう努めることはできたが、コミュニケーション能力や相談技術の向上につながる研修までは至らなかった。
- (3) 報告・連絡・相談を密に行うことで職員間の信頼関係を構築し、利用者ニーズに即した支援を行うため、職員間の連携を強化し、チームワークの向上に努めた。
- (4) 強度行動障害基礎研修の受講や課内研修で障害福祉サービスについての研修会、身体拘束廃止に向けた取り組みなど研修の機会を設け、職員の質の向上に向けた取り組みを行った。

3. 利用者の作業と工賃の充実

- (1) 工場の停止や減産などで作業を提供できない日もあったが、下請け作業に代わる自主製品の製作作業を提供した。
- (2) 企業へ作業量の増加について依頼を行い、新しい作業につなぐことができた。
- (3) オレンジ工房あげき工賃支給要綱に基づき、適切な支給を行った。
- (4) コロナ禍のため、企業からの下請け作業が減ったため、工賃の向上までは至らず、例年並みの支給となった。

4. 関係機関等との連携強化

- (1) 関係機関との会議には積極的に参加し連携の強化に努め、また個別支援計画を見直すことで、利用者ニーズの把握に努めた。
- (2) 相談支援事業所との連携を密に行い、利用者ニーズの把握及び支援につなげた。
- (3) 北勢地区民生委員児童委員障がい者部会の施設見学、北勢中学校1年生の班

別分散学習、同中学校2年生の職場体験の受け入れを行い、地域に開かれた施設運営を行った。

5. 安定した運営（経営）と選んでもらえる事業所になるための工夫

- (1) 無駄な残業はせず、常にコスト意識を持つことに努めた。また、昨年度に続き、祝日の開所を行い、家族の負担軽減につなげた。
- (2) 特別支援学校の実習を積極的に受け入れ、くわな特別支援学校1年生3名、2年生3名を受け入れた。
- (3) 実習生には、障がいの特性に応じた活動を提供し、活動内容を積極的にアピールすることで、学校卒業後の進路希望につながった。
- (4) 加算に必要な研修を受講することにより、令和5年度より、新たな加算取得につながった。

6. 感染症対策を徹底した事業所運営

- (1) 毎日の業務終了後、施設内の机、椅子、手すり等の消毒を徹底した。
- (2) 利用者は通所時と午後の1日2回の検温、手洗い、手指消毒を徹底した。職員は、県の無料PCR検査の活用と、事業所で購入した抗原検査キットを活用し、感染予防、感染拡大防止に努めた。
- (3) 感染対策マニュアルを作成し、マニュアルに沿った事業所運営を行った。
- (4) 利用者、職員でコロナウイルス陽性者が相次ぎ発生したが、利用者家族協力を得て、家族送迎に切り替える等、拡大防止に努め、コロナウイルス拡大防止のため、1日の休業は余儀なくされたが、休業日でも支援が必要な利用者には開所し利用につなげた。しかし、事業継続計画の作成まで至らなかった。

7. 障がい者グループホーム事業開設に向けた検討

- (1) グループホーム開設に向け、社会福祉協議会運営のグループホームの視察を行い、情報収集に努めた。
- (2) 日中活動の運営を行いながら、夜間の支援体制など配置等に関する検討の場を設けた。
- (3) グループホームの開設に向け、新規に職員を採用し人材の育成に努めた。

8. 延長利用サービス

延長希望があれば積極的に受け入れ、家族の介護負担軽減に努めた。

9. 日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

令和4年度の日中一時支援事業の実績はなし。

10. 地域活動支援センター（いなべ市委託事業）

訓練対象者 前期1名 後期1名
延べ訓練回数 36回

訓練内容（回数） 調理（20回）、掃除（16回）、洗濯、洗濯たたみ（16回）
 指導員情報交換会 11回

1 1. 利用者数（実績）

就労継続支援B型

利用者数 20名 延べ利用者数 4, 173名

生活介護

利用者数 28名 延べ利用者数 5, 370名

短期入所

延べ利用者数 65名

保育事業部門

【こども支援課】

1. 入所園児数

保育園名	定員	入所園児数 [令和5年3月末現在]						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
石樽保育園	140名	3名	16名	16名	31名	32名	37名	135名
三里保育園	90名	—	—	11名	25名	25名	30名	91名
丹生川保育園	50名	3名	7名	8名	9名	12名	13名	52名
山郷保育園	120名	3名	4名	12名	31名	39名	45名	134名
員弁西保育園	150名	6名	9名	18名	26名	33名	45名	137名

2. 保育園の主な活動

(1) 令和4年度は、前年度に続き、感染予防対策を意識した行事の継続

生活の中で節目となる行事の実施 入園式（4月）、卒園式（3月）

季節を感じ、伝統行事の実施 なつまつり（7月）、運動会（10月）、クリスマス会（12月）、節分豆まき（2月）

(2) 子どもたちが主体的になれる行事の実施

園児の仲間づくりを意識した行事

遠足（春・秋）、生活発表会（冬）

野外活動のなかでの経験

竹林の散策・タケノコ掘り（春）

川へ出向いて、水遊び・魚とり（夏）

園児自らおにぎりを作って持参して山遊び（夏～秋）

森林の広場や園庭で、子どもたちが火おこしなど役割分担を決め、焼き芋・味噌汁・おでん・だいこんもち・黒豆ご飯などを作る。（秋～冬）

(3) 笠間保育園の園児もいなべ市の大切な子どもとしての受入れ

受入れ期間：5月23日～令和5年3月10日まで

石樽保育園	5歳児	2クラス	34人	
三里保育園	3歳児	1クラス	18人	
山郷保育園	3歳児	1クラス	19人	
員弁西保育園	4歳児	1クラス	25人	計96名

3. 一時預かり事業（いなべ市委託事業）

保護者の病気、家族の看護や介護その他事由により家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童の一時的な保育の実施

三里保育園	利用延べ人数：10名	利用延べ日数：49日
丹生川保育園	利用延べ人数：3名	利用延べ日数：16日
員弁西保育園	利用延べ人数：1名	利用延べ日数：2日

4. 障がい児保育事業の充実（いなべ市委託事業）

公立保育園に保育士を派遣し、障がい児保育の理解を深めた。

ほくせい保育園：4名	治田保育園：2名	員弁東保育園：4名
笠間保育園：4名	ふじわら保育園：4名	

5. 子育て支援センター事業（いなべ市委託事業）

新型コロナウイルス感染予防対策を意識した事業の実施

おもちゃを載せた車両（おでかけGO）を持参し、地域の公園で遊べる日の実施。

石樽子育て支援センター	7回	延べ	49名参加
北勢子育て支援センター	6回	延べ	77名参加
員弁子育て支援センター	2回	延べ	23名参加
笠間子育て支援センター	6回	延べ	65名参加
藤原子育て支援センター	5回	延べ	41名参加

利用対象者（市内に住所を有する親子）、利用時間（1組90分）の制限を設けるなど、安心してセンターを利用してもらえる工夫を行った。

午後は1歳おめでどう訪問などの訪問活動を中心にした事業の実施

開所日数と利用者数

区分	石樽子育て支援センター		北勢子育て支援センター		員弁子育て支援センター	
年間開所日数	240日		242日		241日	
対象	延べ利用者数	内新規利用者数	延べ利用者数	内新規利用者数	延べ利用者数	内新規利用者数
～12ヶ月	92名	34名	397名	47名	375名	51名
0歳児	1,225名	99名	1,219名	79名	1,335名	60名
1歳児	1,148名	34名	1,016名	31名	1,160名	19名
2歳児	313名	22名	1,156名	28名	1,525名	15名
3歳児以上	8名	2名	9名	0名	19名	1名

区分	石樽子育て支援センター		北勢子育て支援センター		員弁子育て支援センター	
保護者	2,465名	145名	2,944名	149名	3,491名	128名
合計	5,251名	336名	6,741名	334名	7,905名	274名
区分	笠間子育て支援センター		藤原子育て支援センター			
年間開所日数	124日		243日			
対象	延べ利用者数	内新規利用者数	延べ利用者数	内新規利用者数		
～12ヶ月	157名	35名	125名	16名		
0歳児	530名	30名	495名	30名		
1歳児	447名	13名	428名	11名		
2歳児	270名	8名	377名	7名		
3歳児以上	7名	0名	1名	0名		
保護者	1,194名	68名	1,269名	57名		
合計	2,605名	154名	2,695名	121名		

※～12ヶ月：R4.4.2～R5.4.1生 0歳児：R3.4.2～R4.4.1生

※笠間子育て支援センターの実績は、5月11日～10月31日までの閉館期間を除く。

訪問事業（年間実績件数）

	石樽子育て支援センター	北勢子育て支援センター	員弁子育て支援センター
1歳おめでとう訪問	59件	86件	84件
ブックスタート	64件	14件	94件
ブック・Reスタート	55件	10件	86件
	笠間子育て支援センター	藤原子育て支援センター	
1歳おめでとう訪問	75件	28件	
ブックスタート	73件	29件	
ブック・Reスタート	66件	22件	

相談事業（年間実績件数）

	石樽子育て支援センター	北勢子育て支援センター	員弁子育て支援センター
面接相談	28件	77件	55件
電話相談	1件	2件	2件
訪問相談	31件	2件	0件
	笠間子育て支援センター	藤原子育て支援センター	
面接相談	53件	28件	

	笠間子育て支援センター	藤原子育て支援センター
電話相談	0件	1件
訪問相談	0件	2件

